

福まち通信

第 4 号

発行 平成30年7月20日

発行責任者 センター長

西岡会館 4条5丁目8-21

電話・FAX 854-0537

西日本の豪雨は想像をはるかに超えた酷さです。私達も日頃から万一の場合に備えましょう。毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

7月の行事

- 3日(火) 札幌市「見守りの日」
- 5日(木) 西岡げんきランド
- 10日(火) 第3回代表推進員会議
第1回実行委員会
- 11日(水) イオンの日
- 18日(水) 西岡げんきランド
- 30日(月) 第4回役員会議

8月の行事予定

- 3日(金) 札幌市「見守りの日」
- 7日(火) 第4回代表推進員会議
第2回実行委員会
- 11日(土) イオンの日
- 21日(火) 西岡げんきランド
- 31日(金) 第5回役員会議

福まち事務室のお盆休み

8月13日(月)～16日(木)の4日間

★『ふれ愛交流会』の開催準備状況の報告～いよいよ準備が大詰めです～

第1回実行委員会(7月10日(火))で概要の協議を行いました。

○日時 平成30年9月16日(日) 10時30分～13時30分 ※開始時間に十分留意を!

○会場 札幌大学リンデンホール1階カモール 西岡3条7丁目3-1

今年は会場が札大に移ります。くれぐれもお間違えない様に参加者にお伝えください。

○主な催しもの

今年の目玉は、子どものバイオリングループ“おんがくやさん”の演奏
そして、「札幌大学吹奏楽団」の演奏を予定しています。

大いに楽しんで貰えると思います。機会ある毎に参加を呼びかけましょう。

○お手伝いの体制

8月7日(火)の第2回実行委員会で各班の役割など具体的な打ち合わせを行います。

○参加申し込み

第2回実行委員会でプログラムなど確定後、正式に開催案内を配布の予定です。

申し込み〆切りは8月31日(金)となりますので、予めご承知ください。よろしく願います。

★第1回安心安全研修会の開催結果～新しい推進員さんを迎えて～見守りはやさしい目線で～

6月20日(水)にしおか会館で福祉推進員をはじめ関係機関や町内会長、自治会長の方が、これまで最高の90名の参加者で開催されました。研修会の主な模様をお知らせします。

○押木センター長が、日頃の見守り活動を担っている推進員への感謝を述べ、研修会が始まりました。

○最初に、各町内会から推薦された新任の福祉推進員19名に押木センター長から委嘱状が手渡され、今後の福まち活動の推進をお願いしました。(新任推進員29名中、本研修会に19名参加)

◇話題提供では、関係機関の3人の方から福まち活動を中心としたお話を頂きました。

その要点は次の通りです。

1. 豊平区社会福祉協議会 事務局次長 竹内 哲也さん

テーマ:豊平区を取り巻く高齢化の現状と諸課題について

○高齢化の進行に伴い、特に医療面や買い物などの利便性から、札幌市内への転入が多く見られ、ひとり暮らしの高齢者も増えています。このような状況の中で、見守り活動を柱とする「福祉のまち推進センター活動(福まち活動)」の大切さについてお話がありました。

福まち活動は、「誰もが安心して暮らせる街づくり」を目指して、平成7年(※西岡地区は平成9年から)から、ひとり暮らしの高齢者を「そっと見守る」ところからスタートしました。

少子高齢化 → ひとり暮らしの増加 → 地域の結びつきの希薄化

○そっと見守り、つながりができる中で訪問活動を行い、何かお手伝いするところは手伝いも。日頃の活動の中で気懸かり、特に異変に気付いた場合、町内会長、地区の民生委員など地域の方と連携し、必要により行政や関係機関に相談するなどの活動を行ってもらっています。

○また、地震災害は、札幌市内においても危険性があり、日頃の備えが大切です。

阪神淡路大震災の際は、地域の方の支援協力で助けられた方が多かったといわれています。地域の支え合いは、いざという時に備え、本当に大切です。

○穏やかな見守り → しっかりとした見守り → 理想は軽易な日常生活支援へ
声掛け、あいさつ 訪問、交流により関係を深める 自然な形で

○札幌市では毎月3日は見守り・訪問の日と呼びかけ活動を後押ししています。

地域の中の助け合いで生かされた事例は、数多くあります。

是非、色々な方々と連携協力し、皆で支え合いの輪を拡げ推進してください。

2. 豊平区保健福祉課 保健師 菅原 有希さん

豊平区第2地域包括支援センター 保健師 神元 尚美さん

テーマ:高齢者相談と見守りのポイントについて

○見守り訪問活動は「こんなところに注意して」

見守りのポイントは、ラミネート包装の推進資材にチェックの事例を載せ、推進員に配布
ご本人に会って気づくポイント } いつもと違い、何か気になることがあるか
家の中を見て気づくポイント } ひとり暮らしが大丈夫かの視点で
外から見て気づくポイント }

気になった点、気懸かりなことなどを、見守りのネットワークを活かし、豊平区や包括支援センターに気軽に遠慮なく、相談、情報提供をお願いしたい。

○この見守りのポイントは、

日頃の活動の軽減に少しでも役立てれば、早期の対応ができれば、との思いで作成しています。全部がチェックできるわけではなく、この中でいくつか気になる点があれば、相談につなげて頂くことが大切です。

○現在、家族が介護の所帯も増えており、包括には同居家族からの相談事例も多くあります。

また、介護を男性が行っているケースでは、男性自身のまじめさから、介護の悩みなどを他に吐露しないなどの面があります。男性介護の集いもあります。是非、活用してください。

◇最後に、大友副センター長から、「西岡の推進員は、決してひとりではありません。皆が仲間です。見守っている方々は、それぞれに事情が様々。何かあれば、関係機関、関係者が気軽に相談できる『チーム西岡』です。無理のない形で活動を続けてください」と、研修会のまとめを行いました。推進員の見守り活動の大切さを再認識した研修会でした。